

#### 4.) (社)山梨県冷凍空調設備保安協会フロン回収実績等

### フロンガス回収量及び協会活動推移

平成14年度 平成14年4月1日に「フロン回収破壊法」が施行されフロン回収事業所の登録制度や フロン回収が義務付けられました。 本会として、前年度より継続事業として会員業者及び県内会員業者も掌握し、80数社の業者登録をすませ、10月1日には「特定製品に係わるフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律 第21条第1項、省令第7条の認定について」申請を行い認定されました。 協同組合との協同事業としてフロン回収業者にその旨を周知徹底し、実効を上げるべく 関係資料の配布等も行い会員外業者の事業への協力も得られつつあります。

また平成10年度 組合との協同事業として地球環境の問題をテーマとし、シンボルマーク、ポスターの募集、展示、発表・自然冷媒 (NH<sub>3</sub>) をテーマとしての講習会の開催等の事業の推進と 新たな時代へのビジネス展開をして参りました。

昨年は「やまなしシンポジウム」を初めて開催しフロン回収実績及び活動状況を皆様に広くお伝え出来たと思っております。

展示してあります「省エネルギーシステム」の提案及び推進の中で「オープンネットワーク」対応モデルを作成し幅の

広い技術習得を進めております。 このモデルは省エネルギー計測、漏洩監視、デマンド制御、太陽電池、太陽熱利用等

のシステム統合が簡単に行え今後の基幹技術として「PLCセミナー」を行っております。

# フロン回収量

単位kg

	CFC	HCFC	HFC	合 計
	R11/R12 R502	R22	R134a/R404 R407C/R410A	
平成5年度	R-12.R-502について回収済みのものも若干ある。 新年度に於いて、計量の上清算を含めて処理する。			
平成6年度	177.50	41.80		219.30
平成7年度	171.00	100.00		271.00
平成8年度	1,250.00	1,750.00		3,000.00
平成9年度	63.50	230.00		293.50
平成10年度	183.00	790.00		973.00
平成11年度	552.95	2,767.30		3,320.25
平成12年度	344.70	2,389.70		2,734.40
平成13年度	352.90	2,361.00		2,713.90
平成14年度	48.20	2,767.40	225.70	3,041.30
平成15年度	2.70	2,666.90	57.80	2,727.40
平成16年度	64.90	3,436.80	72.80	3,574.50
平成17年度	52.60	5,292.70	58.20	5,403.50
平成18年度	54.73	7,074.43	609.94	7,739.10
平成19年度	116.10	6,636.05	436.69	7,188.84
平成20年度	139.85	5,603.57	358.53	6,101.95
平成21年度	91.33	4,851.50	482.43	5,425.26
平成22年度	366.76	5,567.83	431.96	6,366.54
総合計	4,032.72	54,326.98	2,734.05	61,093.74

和暦	西暦	世界	日本	年数	(社)山梨県冷凍空調設備保安協会	年数	山梨県冷凍空調設備事業協同組合
昭和55年	1980/12	ウィーン条約採択 CFC11.12生産能力凍結使用制限					
昭和60年	1985/3	モントリオール議定書					
昭和61年	1986/4						
昭和62年	1987/4						
昭和63年	1988/5		オゾン層保護法(特定フロン規制)				
平成1年	1989/7		CFC11.12.113.114.115規制開始	19			
平成2年	1990/4			20			
平成3年	1991/4			21			
平成4年	1992/4			22	フロンの回収再利用の検討 フロン回収再利用に関し分析等の推進組織の構築		フロン回収に関する実務部隊として設立準備
平成5年	1993/4			23		1	H5/4/27設立総会の開催 H5/8/3登記完了 フロンガス回収・再利用事業開始
平成6年	1994/4			24		2	
平成7年	1995/4			25		3	
平成8年	1996/1		HCFC22規制開始	26		4	
平成9年	1997/12		(COP3)京都議定書採択 1990年度比-6%を2012年までに削減	27		5	
平成10年	1998/5		家電リサイクル法	28	協会の広報活動として地球環境をテーマとした ポスターの募集と県民祭りの会場での展示及び 祭り参加者の客観的評価の推進	6	
平成11年	1999/4			29		7	
平成12年	2000/4			30		8	
平成13年	2001/6		フロン回収破壊法	31		9	
平成14年	2002/4			32	7条特例の申請許可 フロン回収再利用に関し組合及び協会員以外の処理サービスの提供開始	10	
平成15年	2003/4			33		11	
平成16年	2004/4			34		12	
平成17年	2005/4			35		13	
平成18年	2006/4			36		14	
平成19年	2007/4			37		15	
平成20年	2008/4			38		16	
平成21年	2009/4			39		17	
平成22年	2010/12		COP16メキシコ(カンクン)	40	第一回 オゾン層保護 地球温暖化防止に向けて “やまなしシンポジウム”開催	18	
平成23年	2011/11		COP17南アフリカ(ダーバン)	41	第二回 オゾン層保護 地球温暖化防止に向けて “やまなしシンポジウム”開催 フロンの見える化運動の推進	19	

